

昇仙峡地域活性化推進協議会
令和4年度 第1回総会 議事概要

日 時 令和4年6月9日（木）午後1時30分～午後2時30分
場 所 甲府市役所8階 会議室
出席者 会長、委員5名、委員代理2名
事務局 4名

【第1回総会 議事概要】

1 開会

2 会長あいさつ

3 議事

- (1) 第1号議案 昇仙峡地域活性化計画 令和3年度（2021年度）事業実施報告
及び収支決算について

⇒事務局より、資料に沿って説明。異議なく承認された。

- (2) 第2号議案 昇仙峡地域活性化計画 令和4年度（2022年度）事業
及び収支予算の一部修正について

⇒事務局より、資料に沿って説明。

【委員】

ブランド化に向けた統一デザインの必要性やプロモーションの手法の調査研究などが今年度事業にあるが、その調査の成果に基づいて実践していくのはいつか。

【事務局】

今年度対応できるものについては、順次対応していく、予算を伴うものについては、国の補助事業期間も終わりを迎えることから、今後幹事会で議論して決めていく。

【委員】

この協議会は次年度以降も継続していくのか。

【事務局】

国の補助事業期間の終了後も国に日本遺産事業の進捗状況を報告しなければならず、また、昇仙峡リバイバルプランの管理運営をする会でもあるため、引き続きこの協議会で議論を進めていく。

【委員】

要望となるが、せっかく県や甲府市、甲斐市と地元観光協会など関係事業者が集まっているので、調査事業をして終わりではなく、プロモーションの推進や統一したデザインを導入するところまで皆で関わりながら昇仙峡を応援していくことが必要だと思う。

【委員代理】

令和３年度に調査を行ったものの中で、令和４年度に活かされていくものは、何かあるのか。

【事務局】

令和３年度に行った学術調査については、令和４年度に開催を予定しているシンポジウムの中で発表する機会を設けていく。また、アクティビティの調査については、今後の活用や運営方法などについて幹事会で協議をしていく。

【委員】

来年の３月に昇仙峡は名勝１００年、特別名勝７０年を迎える。昇仙峡観光協会では、委員と話した中で、イベント的なものをして一過性で終わり持続的な効果が見込めないということで、昔に著名人が昇仙峡に来て、溪谷沿いで歌った和歌などがいくつもあるの、それを歌碑にして溪谷沿いに５００ｍごとに並べていただくと昇仙峡を歩く楽しみが増えるのではないかと考えており、この協議会でぜひ議論していただきたい。我々昇仙峡観光協会は、昇仙峡でお客様に歩いていただきたいと思っているので、せっかく名勝１００年、特別名勝７０年という記念の年を迎えるので、そういったことをすると形にも残り面白いのではないかと考えている。

【委員】

現在の山梨県立文学館の館長が日本の短歌の第一人者で、日本歌人協会の名誉会長でもある。山梨で生まれ育った方なので、短歌の先生だが、俳句も含めてご相談すれば力になっていただけるのではないかと。

【会長】

日本遺産を活用した事業や昇仙峡リバイバルプランを実践していく８団体が継続して協議や事業の実施ができるよう、今いただいたアイディアを含め、昨年度までの様々な調査研究結果から、実現可能なものや、さらなる新しいアイディアを持ちより、名勝１００年、特別名勝７０年に向けた事業化や未来に繋がる事業ができるよう意見を出し合って形を作っていきたい。

4 その他 昇仙峡リバイバルプランの進捗状況について

⇒事務局より、資料に沿って説明。

【委員】

いま昇仙峡パーク&バスライドという事業を進めている。山梨県、甲府市、甲斐市と甲府観光開発(株)とで連携協定の連絡会があるが、それぞれバラバラに動いていてまとまりが悪く、力が分散されているように感じている。そこでリアルタイムに昇仙峡では何が行われているのか、皆が納得でき、かつ具体的に次に何をするのか情報共有しながら進めていかないと事業が上手くいかないため、本協議会の会議体としての改善を求めたい。

パーク&バスライドについては、現状、土地の確保に見込みが立ち、原形のプランは完成している。来年に名勝100年、特別名勝70年を迎えるので、それに間に合うようパーク&バスライドの事業を進め、そこに総合案内所を設け、昇仙峡ガイドの紹介や運用を考えている。ここは昇仙峡の全体的なイメージを来訪者へお伝えできる非常に価値ある場所になると思っており、この事業の中で国立公園内のCO2の削減量を計測するなど、よりクリーンで持続可能な観光地として目指していきたいと考えている。

【委員】

県営駐車場等との併用化も一緒に行っていただけるのか。

【委員】

そのとおりです。

5 閉会

午後2時10分終了